

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公表番号】特表2009-520384(P2009-520384A)

【公表日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-534465(P2008-534465)

【国際特許分類】

H 03M 7/30 (2006.01)

G 10L 19/00 (2006.01)

G 10L 19/02 (2006.01)

【F I】

H 03M 7/30 Z

G 10L 19/00 250

G 10L 19/02 150

G 10L 19/00 220D

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データに対応するグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得する段階と、

前記グループ基準値及び前記差分値を用いて、前記データを獲得する段階と、

を含み、

前記データは、第1グルーピング及び前記第1グルーピングに対する外部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理方法。

【請求項2】

前記第1グルーピングによってグルーピングされた前記データの個数に応する第1データ個数は、前記外部グルーピングによってグルーピングされた前記データの個数に応する第2データ個数よりも少ないことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項3】

前記第1データ個数と前記第2データ個数は、互いに倍数関係を持つことを特徴とする、請求項2に記載の信号処理方法。

【請求項4】

前記グループ基準値は、パイルオフ基準値を含むことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項5】

前記グループ基準値は、差分基準値を含むことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項6】

前記グループ基準値及び前記差分値のうち少なくとも一つをデコーディングする段階をさらに含むことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項7】

前記グループ基準値は、パイロット基準値に対応し、前記パイロット基準値は、グループ別に定められることを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項8】

前記第1グルーピング及び前記外部グルーピングは、時間ドメイン及び周波数ドメインのうち少なくとも一つのドメイン上の前記データに対して行われることを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項9】

前記時間ドメインは、タイムスロットドメイン、パラメータセットドメイン及びデータセットドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項8に記載の信号処理方法。

【請求項10】

前記周波数ドメインは、サンプルドメイン、サブバンドドメイン、ハイブリッドドメイン、パラメータバンドドメイン、データバンドドメイン及びチャンネルドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項8に記載の信号処理方法。

【請求項11】

前記獲得されたデータをパラメータとして用いてオーディオ信号を復元する段階をさらに含むことを特徴とする、請求項1に記載の信号処理方法。

【請求項12】

前記外部グルーピングは、ペアをなすパラメータを含むことを特徴とする、請求項11に記載の信号処理方法。

【請求項13】

データに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成する段階と、前記生成された差分値を転送する段階と、  
を含み、

前記データは、第1グルーピング及び前記第1グルーピングに対する外部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理方法。

【請求項14】

データに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成する値生成部と、  
前記生成された差分値を転送する出力部と、  
を含み、

前記データは、第1グルーピング及び前記第1グルーピングに対する外部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理装置。

【請求項15】

データに対応するグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得する値獲得部と、

前記グループ基準値及び前記差分値を用いて、前記データを獲得するデータ獲得部と、  
を含み、

前記データは、第1グルーピング及び前記第1グルーピングに対する外部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理装置。

【請求項16】

前記第1グルーピングによってグルーピングされた前記データの個数に対応する第1データ個数は、前記外部グルーピングによってグルーピングされた前記データの個数に対応する第2データ個数よりも少ないことを特徴とする、請求項15に記載の信号処理装置。

【請求項17】

前記第1データ個数と前記第2データ個数は、互いに倍数関係を持つことを特徴とする、請求項16に記載の信号処理装置。

【請求項18】

前記グループ基準値は、パイロット基準値を含むことを特徴とする、請求項15に記載の信号処理装置。

**【請求項 19】**

前記グループ基準値は、差分基準値を含むことを特徴とする、請求項15に記載の信号処理装置。

**【請求項 20】**

前記グループ基準値及び前記差分値のうち少なくとも一つをデコーディングするデータデコーディング部をさらに含むことを特徴とする、請求項15に記載の信号処理装置。

**【請求項 21】**

前記グループ基準値は、バイロット基準値に対応し、前記バイロット基準値は、前記グループ別に定められることを特徴とする、請求項15に記載の信号処理装置。

**【請求項 22】**

前記第1グルーピング及び前記外部グルーピングは、時間ドメイン及び周波数ドメインのうち少なくとも一つのドメイン上の前記データに対して行われることを特徴とする、請求項15に記載の信号処理装置。

**【請求項 23】**

前記時間ドメインは、タイムスロットドメイン、パラメータセットドメイン及びデータセットドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項22に記載の信号処理装置。

**【請求項 24】**

前記周波数ドメインは、サンプルドメイン、サブバンドドメイン、ハイブリッドドメイン、パラメータバンドドメイン、データバンドドメイン及びチャンネルドメインのうちいずれか一つを含むことを特徴とする、請求項22に記載の信号処理装置。

**【請求項 25】**

前記獲得されたデータをパラメータとして用いてオーディオ信号を復元するマルチチャネル生成部をさらに含むことを特徴とする、請求項15に記載の信号処理装置。

**【請求項 26】**

前記外部グルーピングは、ペアをなすパラメータを含むことを特徴とする、請求項25に記載の信号処理装置。